

授 業 科 目 名	学校インターンシップ	教 員 名	福田 亙博	免許・資格 との関係	小学校教諭	必修
					幼稚園教諭	必修
授 業 形 態	演習	担当形態	単独		保育士	必修
					こども音楽療育士	
科 目 番 号	JIS203	配当年次	1～2年次	卒 業 要 件	小幼コース	必修
単 位 数	1単位				幼保コース	必修
科 目						
施 行 規 則 に 定 め る 科 目 区 分 又 は 事 項 等	大学が独自に設定する科目					
一 般 目 標	<p>幼児、児童及び生徒並びに学習環境等に対して適切な観察を行い、学校実務に対する補助的な役割を担うことを通して、教育実習校・実習園の幼児、児童及び生徒の実態と、これを踏まえた学校経営並びに技能を理解する。</p>					
到 達 目 標	<p>(1) 学校・園における授業以外の実務・実践的な業務（授業の補助、学校行事や部活動への参加、放課後の児童クラブ、土曜授業の補助など）を経験することを通して学校実務・教員の職務について理解する。</p> <p>(2) 幼児、児童及び生徒への教科以外の様々な活動の場面で適切に関わる必要性を理解できる。</p> <p>(3) 学校教育における今日的課題について、課題解決に向けた取組を見学・経験しながら、学校経営方針及び特色ある教育活動並びにそれらを実施する組織体制を理解する。</p> <p>(4) 自身の学びを振り返り、学校インターンシップで学んだことから、教職に関する事柄に対する省察力を高める。</p>					
授 業 の 概 要	本演習は、教育保育実習担当教員の指導・助言のもと、教育・保育実習に行くための事前研修の位置づけとして開講する。終了後は、自身の学びの成果をまとめ、レポートを提出すると同時に事後報告会において発表する。					
ディプロマ・ポリシーとの関係	本演習は、教育学部のディプロマ・ポリシーに掲げる「2. 教育者としての情熱を持ち、正しい倫理観と責任感を身につけている。」「4. 教育に関する事柄について、継続的・主体的に学ぶ学習能力を身につけている。」「5. 教育実践力を身につけている。」「6. 教科・教職に関する基礎的・応用的知識を身につけている。」を育成する科目として配置している。					
授 業 計 画	<p>・学校インターンシップは、基本的には夏季休業中に実施する（宮崎県が主催するスクールトライアル事業、ひなた教師塾や地域で開催される保育フェスティバル等の保育者・保育教諭・教員としての資質向上につながる活動を含む）。なお、夏季休業中以外について、保育所・幼稚園・認定こども園・小学校と相談の上実施する。</p> <p>第1回：学校インターンシップに関するオリエンテーション・事前研修会（個人情報・研究倫理研修を含む）</p> <p>第2回～第14回</p> <p>・小学校教諭免許状：宮崎県が主催するスクールトライアル事業（小・中における3日間の見学実習を含む）を含み、12回（原則として1日8時間の実習＝96時間）以上の研修を必要とする。</p> <p>・幼稚園教諭免許状・保育士資格：幼稚園・保育所における事前見学の他、地域で実施される保育フェスティバル等を含む（実施された日数・時間数で単位数を計算する）。</p> <p>第15回：事後報告会</p>					
学 生 に 対 す る 評 価	授業計画に記載されている研修を96時間経験したことを報告書等で確認する他、提出されたレポートあるいは事後報告等々を評価し、「合・否」で判定する。					
授 業 外 学 習 に つ い て						
テ キ ス ト	必要な資料はすべてプリントで配布する。					
参 考 書						

参 考 資 料 等	
担 当 者 か ら の メ ッ セ ー ジ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実習先の学校・園は、学生諸君の実習のためにあるのではなく、子どもたちの学びの場となっている。したがって、教員・保育者への強い志望を持っており、成績評価の対象として定められた実習時間を継続できる学生のみについて受講を認める（途中で中止することは、実習先の子どもへの気持ちや学校・園の信頼を裏切ることになるので、厳に慎むこと）。 ・ 「学校インターンシップ受講登録届」に記入された希望等をもとに、インターンシップ実習先を調整・決定する。 ・ 実習にかかる交通費等の諸経費は受講生負担とする。
オフィスアワー	<p>福田 亘博（メール等でアポイントを取ること） 学務係 柏田 （9:00～17:15）</p>